

# ゲンビ

絵画、彫刻、工芸、書、いけばな...etc  
そのジャンルは一切不問。  
共通の目的は、新しい「造型」の探究のみ。  
その名を現代美術懇談会、通称ゲンビ。

## New era for creations 現代美術懇談会の軌跡 1952-1957

会 期：2013 年 10 月 19 日（土）-11 月 24 日（日） 【32 日間】

開館時間：午前 10 時-午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

会 場：ホール、第 1、2 展示室

休 館 日：月曜日（ただし祝日の場合は翌火曜日休館）

観 覧 料：一般 300（240）円、大高生 200（160）円、中学生以下無料

※（ ）内は 20 名以上の団体料金。高齢者（65 歳以上）及び身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳、療育手帳所有の方、ならびにその介護の方は各当日料金の半額。

※同時開催「芦屋の歴史と文化財」展の観覧料含む。

※関西文化の日（11 月 16 日、17 日は観覧無料）

主 催：芦屋市立美術博物館

特別協力：朝日新聞社

後 援：兵庫県、兵庫県教育委員会、公益財団法人兵庫県芸術文化協会、  
NHK 神戸放送局、関西テレビ放送、ラジオ関西、ジュンク堂書店芦屋店

助 成： **Asahi** アサヒグループ芸術文化財団、財団法人自治総合センター



本展は公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団、宝くじ（財団法人自治総合センター）の助成を受けて実施いたします。  
各媒体にてご紹介いただく際には、当館よりお渡しするロゴマークのご掲載をお願いいたします。掲載スペースが限られる場合は、上記文面をご掲載いただきますようお願い申し上げます。※別紙ロゴマークの使用規定をご参照ください。

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は芦屋市立美術博物館の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、芦屋市立美術博物館では「ゲンビ New era for creations - 現代美術懇談会の軌跡 1952-1957」を開催します。

現代美術懇談会（ゲンビ）は、1952 年秋に大阪で創立された研究会です。“同じエスプリをもって新しい造型を志す人々が、各所属団体を考えずに、自由な個人の立場からお互いに忌憚なく語り合う会をつくる事になりました”。第 1 回の懇談会の案内状からは、既成のジャンルにとらわれることなく、全くの自由な発想を元に新たな芸術のかたちを模索しようとしたゲンビの力強い精神を窺い知ることが出来ます。

1950 年代初頭、芸術家たちはまさに“新しい”芸術のかたちを構築すべく奔走しました。ゲンビもそうした活動の中のひとつといえますが、関西においてはまさにその後のモダンアート発展のコアを形成したと言っても過言ではありません。

当時激論を交わし合った芸術家たちの、自らが新しい芸術の世界を構築していくのだという自負は、失われることのない熱気と共に解散後 50 年以上を経た現代にも伝えられます。

本展では、“新しい造型”をキーワードに、ゲンビに参加した芸術家たちによる情熱的な作品の数々を展覧します。戦後間もない 1950 年代初頭。芸術家たち、そして時代の熱気を肌で感じていただく好機となるでしょう。

つきましては、広報用写真や読者・視聴者用プレゼント招待券もご用意しておりますので、ご希望の場合は別紙の FAX 用紙にてご連絡ください。ご不明点などございましたら当館までご連絡くださいませ。

ぜひ本展をご紹介いただきますようお願い申し上げます。

敬具

## 出品作品

絵画、彫刻、書、工芸、写真、いけばな等  
約 60 点(予定)

## 出品作家(予定)

**【絵画】**伊藤久三郎、今竹七郎、上前智祐、陰山光義、  
金山明、嶋本昭三、白髪一雄、城口幸男、杉山  
英行、須田剋太、田中健三、田中敦子、津高和  
一、中村真、森口宏一、山崎隆夫、山崎つる子、  
吉田稔郎、吉原治良、吉原通雄

**【彫刻】**植木茂、堀内正和

**【書】**井上有一、江口草玄、森田子龍

**【工芸】**熊倉順吉、中西美和、林康夫、藤本能道、  
三浦省吾

**【いけばな】**安部豊武、安部富美子、谷口采鴻

ほか(予定、敬称略)

\*いけばなは写真での展示を予定。

## 関連イベント

### (1) ワークショップ「みるだけじゃなく、じぶんでもつくってみない？」

日 時：2013 年 11 月 2 日（土）

11 時 30 分～16 時

講 師：寺島みどり

(大阪教育大学教養学科准教授、美術家)

会 場：2 階 ホワイエ(予定)

参加費：無料(要観覧券)

### (2) 講演会「現代美術懇談会(ゲンビ)―“抽象”と“総合”が目指したもの」

日 時：2013 年 11 月 17 日（日）

14 時～（2 時間程度）

講 師：平井章一

(京都国立近代美術館主任研究員)

会 場：1 階 講義室

参加費：無料

### (3) ギャラリートーク

日 時：2013 年 10 月 26 日（土）、11 月 23 日（土）

どちらも 14 時～

講 師：当館学芸員

参加費：無料(要観覧券)

広報用画像

---



①吉原治良 《作品 A》 1955 年  
大阪新美術館建設準備室蔵  
第 3 回ゲンビ展



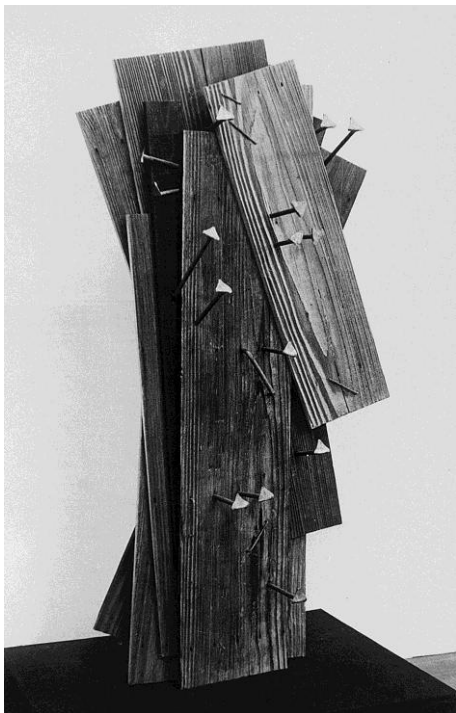
②植木茂 《作品》 1954 年  
個人蔵  
第 1 回モダンアートフェア



③林康夫 《作品(弧)》 1955 年  
和歌山県立近代美術館蔵  
第 3 回ゲンビ展



④森田子龍 《蒼》 1954年  
国立国際美術館蔵  
第2回ゲンビ展



⑤安部豊武 《作品》 1954年  
個人蔵（図版）  
第2回ゲンビ展

## 画像について

『ゲンビ New era for creations - 現代美術懇談会の軌跡 1952-1957』展の画像データをプレス掲載用にご用意しております。使用を希望される際は別紙をご参照の上、窓口までご連絡ください。

お問い合わせ先 芦屋市立美術博物館  
〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町 12-25  
ホームページ <http://ashiya-museum.jp/>

【画像貸出など広報について】  
担当：総務課  
TEL:0797-38-5432

【企画内容に関して】  
TEL：0797-23-2666（学芸直通）

# ゲンビ New era for creations

## 現代美術懇談会の軌跡 1952-1957 展

FAX 連絡先

(0797) 38-5434

ご希望の写真番号に○をつけてご返送をお願いいたします。本展をご掲載いただける場合、  
読者・視聴者プレゼント用招待券(10組20名様まで)もご用意しておりますので、お気軽にご連絡ください。

| 番号 | 作家名・作品名・制作年・素材・所蔵元など                  |
|----|---------------------------------------|
| ①  | 吉原治良 《作品A》 1955年 大阪新美術館建設準備室蔵 第3回ゲンビ展 |
| ②  | 植木茂 《作品》 1954年 個人蔵 第1回モダンアートフェア       |
| ③  | 林康夫 《作品(弧)》 1955年 和歌山県立近代美術館蔵 第3回ゲンビ展 |
| ④  | 森田子龍 《蒼》 1954年 国立国際美術館蔵 第2回ゲンビ展       |
| ⑤  | 安部豊武 《作品》 1954年 個人蔵(図版) 第2回ゲンビ展       |

|          |                           |
|----------|---------------------------|
| 貴社名      |                           |
| 媒体名      | (新聞・雑誌・ミニコミ・WEB・TV・ラジオなど) |
| ご担当者名    |                           |
| ご住所      | 〒                         |
| 電話番号     | TEL FAX                   |
| メールアドレス  | @                         |
| URL      |                           |
| 掲載・放送予定日 |                           |
| 写真到着希望日  |                           |
| 招待券希望枚数  | 組 名分希望                    |

写真データの使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。  
本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(VTR/DVD)  
などを当館までお送りくださいますようお願い申し上げます。

また本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合には、事前にご連絡ください。

※本展は公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団、宝くじ(財団法人自治総合センター)の助成を受けて実施いたします。

各媒体にてご紹介いただく際には、当館よりお渡しするロゴマークのご掲載をお願いいたします。掲載スペースが限られる場合は、上記文面をご掲載いただきますようお願い申し上げます。